第3回母親委員会（県PTA情報交換事業）報告

12月4日（木）第3回母親委員会をグリーンパレス春日井で行いました。今回は県PTA情報交換事業を兼ねておりましたので、県教育委員会や県PTA連絡協議会から、7名の方が参加されました。

今回のテーマは「ゲーム機・スマホから子どもを守るために、学校・地域できること」でした。

先進市である刈谷の雁が根中学校の校長大橋普支俊氏に来ていただき、刈谷市でスマホの規制をなぜ行ったのか、実行するまでの経緯についてお話していただきました。9時以降禁止の言葉が一人歩きしましたが、実際は「刈谷市児童生徒愛護会」と「市P連」が各校PTAと学校長に呼びかけた内容は3つあるそうです。その3つは「必要のない携帯・スマホは持たせない」「親子で約束・フィルタリング」「午後9時以降、預かる」という内容だそうです。なぜこのような規制を作り発信したかは、「既読無視」が怖くてラインがやめたくてもやめられない児童生徒の声を聞いたことも一つのきっかけとなったそうです。

その後グループにわかれ、先日春日井市学校教育課がおこなった「携帯・スマホについての保護者アンケート」の結果も参考にして「春日井で地域・学校ができること」について話し合いました。「スマホに依存しないですむ、学校・家庭・地域を作りたい」「学校などで、低学年からスマホの良さや危険さについての教育を進めてほしい」「親も勉強できる講座などを数多く開いてほしい」「市でルールを決めたとしても結局は家庭のルール作りが必要」などの意見が出されました。

最後に県の方から「紅葉の美しさは、写真で撮ってメールやラインで送れば伝わるが、葉の匂いや手で触れた感触は伝わらない。デジタルの良さ、アナログの良さをバランス良くすることが大事」とのご助言をいただきました。

小雨が降る寒い日でしたが、各校2名の方が参加され、熱心にお話を聴き、活発な意見交換が行われました。皆さんの熱意に熱くなる会となりました。